

第1回教育委員会（定例）議事録

1. 開 会

平成30年4月25日（水） 午後2時00分

2. 場 所

たんば田園交響ホール 楽屋A

3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉

委 員 酒井 克典

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 井上 友香

4. 会議に出席した職員

部 長 芦田 茂

次 長 酒井 宏

課 長 小林 康弘

課 長 森本 康幸

課 長 尾松 直樹

課 長 前中 斉

課 長 樋口 裕昭

課 長 村上 由樹

館 長 赤井 毅彦

館 長 小林 純一

所 長 齋藤 昭

所 長 畑 哲也

係 長 田中 真紀子

主 査 中村 直美

5. 議事日程及び議案

別紙の通り

6. 開会宣言

午後2時05分

7. 会 期

（自）平成30年4月25日

（至）平成30年4月25日 1日間

8. 会議録署名委員名簿

垣内 委員

9. 閉 会

午後 5時10分

前川教育長 全委員 前川教育長	<p>日程第1、第19回会議録について意見等はないか。 異議なし。 全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。 日程第2、会議録署名委員は3番垣内委員とする。 日程第3、会期は平成30年4月25日、本日1日間とする。 日程第4、報告事項に移る。報告1「篠山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について（専決処分）」こども未来課説明を求める。 《議案書に基づき説明》</p>
前中課長	
垣内委員 前中課長	<p>この改正によって、篠山市として人力的にはどうなのか。 免許については、今まで更新講習受講の有無を明記していなかったので、明記することにより応募してもらえる方があると期待している。中学校卒業者の5年以上の実務経験については、条例上明記がないので、募集要項の中にどう入れていくか検討したい。</p>
井上委員 前中課長 井上委員 前中課長	<p>5年間補助員をすると、指導員になれるという認識でよいのか。 指導員になる資格を有するということである。 放課後児童支援員の資格を取る必要性はあるのか。 国が要件を決めている。まず支援員になるためには、資格要件を満たした人が、講習を受けて支援員と認められる。</p>
酒井委員	<p>雇用の拡大が期待される。条例第8条の2の、研修の機会を確保しなければならないとあるが、どのような研修を行っているのか。</p>
前中課長	<p>市の主催する研修は年2回開催し、県主催の研修には積極的に参加してもらおうよう対応している。</p>
酒井委員 前中課長	<p>研修内容や方向性について聞く。 市主催の研修は、毎年テーマを変え、参加しやすい時間帯に2時間程度、遊びの研修や支援の必要な子供たちへの関わり方の研修などを行っている。</p>
前川教育長	<p>この4月には、特別支援への関わり方として、教育支援センター職員による2時間程度の研修を行った。</p>
酒井委員	<p>計画を立てて実施してほしい。 条例第5条の4にある評価についてはどうしているのか。</p>
前中課長	<p>点検評価については、事業所ごとの詳細な評価ではなく全般的な評価として報告している。あわせて、市の施策の事務事業の評価表も同じように公表している。</p>
酒井委員 前川教育長	<p>できるかぎり公表に努めて欲しい。 事務局として、関わる者の質の向上、また反映するような年間計画や、研修会の充実をはかっていきたい。</p>
前川教育長	<p>報告2「寄附採納について」教育総務課説明を求める。 《議案書に基づき説明》</p>

酒井委員 酒井次長	<p>防犯ブザーの調査結果について報告を願う。</p> <p>「自転車の左側通行、歩行者の右側通行などの交通ルールを順守する指導」「決められた通学路を通り地域の方への積極的なあいさつをする登下校時のマナーやあいさつなどの励行の指導」「交番やこどもを守る110番の家の確認や防犯ブザー・防犯笛などの活用と定期的な点検を含めた児童生徒自身が登下校時の危険回避のための具体的方策の指導」の3点について年度当初に指導したと報告を受けている。</p> <p>各学校における指導状況として、4月の第2週に、全ての小・中学校が朝会や一斉下校、始業式で指導した。特に3つの中学校では警察官を講師に招き、安全講話や実施訓練を行った。また児童会や生徒会を中心にあいさつの習慣化に取り組んでいる学校が増えてきた。電車やバスを利用して登下校している学校は、正しい交通機関の使い方のマナーやあいさつの指導を徹底し、教員が複数回、朝の立ち番や下校時の立ち番でマナーの定着を確認している。13校の小学校では防犯ブザーの使い方の練習を行った。1校は防犯笛で確認している。防犯ブザーを中心に取り組んでいる学校については、寄贈してもらった防犯笛は家庭で使うことを原則にしている。防犯ブザーは1回の動作で鳴るが、防犯笛は手にとる、口に加える、息を吹き込む、音をだすの4段階の過程を踏むので低学年には難しい面もあり、家での活用を中心にする。下校時には110番の家の場所を確認している。中学校では、ヘルメットや安全たすきの徹底、110番の家の確認、緊急時の連絡方法の指導をしている。このように、自分たちの身を守るためのスキルを各学校に徹底して指導することを伝えた。</p>
酒井委員	<p>14校のうち1校が防犯笛を利用している。残りの1校も防犯ブザーにすべきではないか。警察などを含めて関係機関はどう考えているのか。</p>
酒井次長	<p>その1校も、防犯ブザーが購入できないか検討を始めているという報告を受けている。</p>
井上委員	<p>防犯ブザーに爆発する電池が入っていたとテレビで放送されていたが大丈夫なのか。</p>
酒井次長	<p>家庭でも点検するように伝えている。その情報をもとに精査して指導できる部分は指導していきたい。</p>
前川教育長 田中係長	<p>報告3「後援名義の使用承認について」教育総務課説明を求める。 《議案書に基づき説明》</p>
垣内委員	<p>使用承認は、行事について使用承認しているのか。年中活動しているところへの使用承認はどうなのか。</p>
小林課長	<p>行事の中身を精査して後援をするかどうかの判断をしている。年中活動しているところには、活動内容を確認するなどにより判断したい。基本的には行事の内容で後援をしているものである。相談いただいたらと思う。</p>
垣内委員	<p>個別に相談してほしいと返答しておく。</p>

芦田部長	ただし、一定の団体に年間を通じて後援をするという行為が教育委員会とふさわしいのか、慎重になる姿勢が必要だと思う。団体を後援するのではなく、その団体が行う行為に対して教育的側面から見て教育効果が上がるという形で後援すべきものである。事例を調べたうえで慎重に検討したい。
井上委員	自然を楽しむ会は年間を通して行っている事業である。
酒井委員	専決をするにあたって、費用や期間などの内規的なものがあるはずである。紛らわしい案件については、この場で協議するものだと思う。承認をする時の基準を示してほしい。
小林課長	基準については次回の定例会で提示する。
前川教育長	報告4「平成29年度篠山市学校運営協議会の総括について」学校教育課説明を求める。
尾松課長	《議案書に基づき説明》
中村委員	他校の取り組みを知ることは必要である。コミュニティスクールの委員にも周知をお願いしたい。コミュニティスクールで花や記念樹の取り組みも良いが、児童と直接出会って言葉を交わす取り組みが何よりも大切である。組織づくりも偏ったメンバー構成にならないようさらに検討してほしい。地域エキスパートバンク登録を保護者に周知するとともに、中学校部活動支援員にも活用をお願いしたい。
酒井委員	特色ある取り組みでは、日本遺産伝承教室は、今後多くの学校で取り組んでほしい。西紀中学校では、地域活動に委員が関わり、教職員の業務改善に繋がったのも良い取り組みであるので、他校にもすすめてほしい。
尾松課長	教育委員会として何が課題と捉えているか。
酒井委員	これまで第三者の立場で学校に対して意見を述べるという立場で関わってもらっていた。今度からは当事者として、学校園に関わってもらえるようなくみづくりをすすめていきたい。また、いろんな行事や取り組みを地域連携を通して、子ども達に何を学ばせ何を身につけるのか、ねらいを明確にし地域の方に発信することが、まだ不十分だと考えている。子どもに学力をつけることとどう結びつけていくかが今後の課題と考えている。
井上委員	課題として連携が学校支援にとどまっているのではないか。学校主体ではなく、当事者として地域の人たちと一緒に学校で子ども達をどう育てていくかの制度である。その方向性を明確にすることを考える必要がある。委員に当事者意識を持ってもらい、人選や研修にも配慮してほしい。気になるのは、学校側の承認事項である。学校がどのような情報提供をしていくかである。情報提供の仕方を考えてほしい。
尾松課長	コミュニティスクールがどのように運営されているか、学校の状況が聞けるような場があればいい。スクールプランではなく別の公表の仕方があればお願いしたい。
	今のところ、ホームページしかないので検討したい。

前川教育長	<p>スクールプランについては、4月のPTA総会で報告し教育委員会で集約することを取り決めているので、集約した物を冊子にして渡すことは可能である。</p>
酒井委員	<p>学びの場を意図的にやらないとこの事業はすすまないと思う。先進的な取り組みをみんなが共有することで具体的な姿が見えてくる。先進例を公表する意見交換の場を設定してほしい。</p>
前川教育長	<p>報告5「平成29年度幼稚園・こども園学校評価報告書について」こども未来課説明を求める。</p>
前中課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
前川教育長 尾松課長	<p>報告6「平成29年度学校評価報告書について」学校教育課説明を求める。 《議案書に基づき説明》</p>
中村委員 尾松課長	<p>報告書の達成状況が学校によりまちまちなのはなぜか。 評価は各学校の基準が違うからである。比較には適さない評価になっている。評価項目3つの柱については共通してあげるようにしている。それ以外は、重点課題が各学校でことなるので、統一するのが難しい。</p>
酒井委員 尾松課長	<p>評価の妥当性を教育委員会としてどう捉えているのか。 各学校長によって学校経営の在り方が違い、課題も違うので評価項目は違う。自校の課題を明確にして、次年度に向けて学校経営の在り方を検討する材料と考えている。</p>
酒井次長	<p>評価については、各学校が立てた目標なので、重要な自己評価の部分になる。学校評価は1年限りで終わるものではない。次の年にどうするか、次年度の課題を明記し、学校のレベルをあげていくため教育委員会としてどのように指導に活かすか考えている。</p>
酒井委員 酒井次長 酒井委員	<p>評価項目は妥当なものと考えているのか。 妥当かどうかをヒアリングで確認していくつもりである。 評価項目の立て方が問題だと思う。何を根拠にしているのか、評価の在り方について、真剣に考えてほしい。指導や研修をしてきっちり評価をしないと、学校改革に繋がらないと思う。幼稚園については、5歳卒園時に育ててほしい姿を描き評価するものであるが、そのような視点で評価項目がつけられているか不安である。目指す子供たちの姿を明確にし、それに向い今後外部評価を入れてはどうか。</p>
酒井次長	<p>学校を見ていく基準や児童の実態や学校の取り組みなど外部評価の基準の検討を要する。外部評価で改善が進む点もあり、時間がかかる点もあるので非常に難しい問題と考える。</p>
前川教育長	<p>評価から改革するのが早い。評価をすることで改善されることがある。コミュニティスクールの中で、誰が外部評価するのが問題である。今後1年間、評価のための評価にならないように評価の在り方について、研究や調査</p>

前川教育長	を提示していきたい。 報告7「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課説明を求め る。
尾松課長	《議案書に基づき説明》
酒井委員 尾松課長	小学校の窃盗・万引き、指導不服従、不登校が増えた原因は何か。 6件の窃盗万引きのうち、保護者からの通報が5件で店からの通報が1件。 保護者と良好な関係が築け、連携が取れて未然防止に繋がっていると感じて いる。指導不服従では、一部の児童が担任とうまくいかなかったケースがあっ たが、加配教員を配置し早期対応したことにより減少している。不登校では、 全国不登校率が0.48%で、篠山市は0.81%と全国値を上回っている。 16名の不登校のうち、現在4名は登校できる状況になっている。転校によ り適応が難しい児童が5名いるので、適応できるよう早期対応を進めたい。
前川教育長	不登校＝ひきこもりの見方があると感じたがそうではない。様々なケース スがある。子ども達が大人になるまで、どのような関わり方があるか福祉と 一緒に考えていきたい。
垣内委員	保護者が選択肢として、学校以外のところを選ばれると聞いているので重 要な課題と考えている。
井上委員	不登校にあがってくる前に子ども達のケアをして、子ども達に生きる力を 授業以外の時間で教員がつけるようにしているので、そのあたりをバックア ップし、人数に出てきていな子ども達を一人でも現場に戻せるような対応が 必要と感じた。
前川教育長	学校をあてにしない社会がかつてあった。子どもが育ち、子どもを育てる とは何か、不登校の問題には教育の根幹が問われていると思う。
酒井委員	それぞれが役割を担い、子どもを育てていく社会に変えていく必要がある と思う。
前川教育長	報告8「平成30年度4月小・中・特別支援学校定例校長会について」学 校教育課説明を求め る。
酒井次長・尾松課長	《議案書に基づき説明》
酒井委員	各学校の学習や生活に関する学力向上プランは、コミュニティスクールで 公表されるのか。
尾松課長	公表する。
前川教育長	報告9「篠山市スポーツ推進委員の委嘱について」社会教育課説明を求め る。
樋口課長	《議案書に基づき説明》
酒井委員	学識経験者枠からの選出なのか。

樋口課長	学識経験者枠ではない。地域からの選出である。
前川教育長	報告10「たきこども園（仮称）の整備計画について」こども未来課説明を求める。
前中課長	《議案書に基づき説明》
前川教育長	報告11「城北畑児童クラブの整備計画について」こども未来課説明を求め。 《議案書に基づき説明》
井上委員 前中課長 井上委員	たきこども園の駐車場で、車止めの後ろにフェンス等はないのか。 1. 2メートルのフェンスがつく。 ランドセルなどを入れるロッカーは、味間児童クラブと同じロッカーを設置する予定なのか。味間児童クラブと同じ物であればサイズが小さいのでもう一回り大きいロッカーを設置するほうがよい。
前中課長 前川教育長 前中課長	古市児童クラブと同じロッカーを設置する予定である。 味間児童クラブよりも古市児童クラブのロッカーのほうが大きいのか。 実際の寸法はわからない。味間児童クラブのロッカーは古いタイプなので、少し狭いと思う。古市児童クラブに入れたロッカーは新しいので広いと思う。
前川教育長 垣内委員	サイズを確認する。 たきこども園は、洗練されたデザインだが冷たい感じがする。子ども向けの施設に感じない。建物の木質化はどの程度意識した設計になっているのか。また、地元の環境や子どものデザインに適しているのか。
前中課長	完全な木造建築である。出来るだけ市内木産を使うことで調整を図っている。建物の南側には遊具を設置する。転落防止用の柵もある。 幼稚園の保護者会で説明したが、建物について、これでよいとの意見をもらっている。
垣内委員 前中課長 中村委員	フェンスの枠はアルミなのか。冷たさを感じる。 アルミかどうか詳細はわからない。 篠山市教育委員会の理念「一人一人が光り輝く」「知の森構想」のビジョンに沿った建物になっているのかと感じた。郷土愛が生まれ、市の発展を考え、次世代に繋ぎたくなるような篠山らしさを活かした発想が必要である。
前中課長	こども園、児童クラブの今後の計画を教えて欲しい。 こども園について今後の計画はない。児童クラブは今のところ現状のままである。ただ、篠山児童クラブの人数が増えてきているので、状況を見ながら検討しなくてはならないと思っている。
垣内委員	フェンスは木造で、木を格子状にしたり、屋根の色を変えたり、これで決定するのではなく、業者にいくつかの案を出してもらえばどうか。地元の者として、愛着をもって建物を使いたいののでぜひ検討してほしい。
前中課長	再度、業者と確認しながら提案する。

前川教育長 芦田部長	<p>工事過程の中で、今あったような意見などが反映できることは可能なのか。実施設計の段階までできているので無理である。ただ、屋根の色やフェンスの素材、色等を協議する場はある。地域の意見を聞きながらすすめることはできる。小学校とのマッチングを設計者は意識している。幼児教育施設なので、平屋で限られた面積でレイアウトさせた経緯がある。大きな設計変更は不可能であるが、意見を聞いたことはやっていきたい。</p>
酒井委員	<p>味間認定こども園とたきこども園とでは、合意形成のやり方が違うと感じるのでルールを決めてすすめてほしい。地域の要望を聞いて考えていく姿勢も必要である。こども園をどうするか、将来を含めて検討委員会を立ち上げ意見をまとめる時期が来たと思う。計画性については方向性を定めていくべきである。</p>
前中課長 酒井委員	<p>芝生にはなるのか。 芝生の予定はない。運動場は小学校との共有である。 裸足で走れる環境は篠山らしきで良いと思う。コンセプトや方向性はきちんと示してほしい。</p>
前中課長 酒井委員	<p>事業費の起債はどのように返済していくのか。 返済の具体的なことは、今はわからない。 こども園を色々なところで作っていく必要があるので、見直しをもった予算の使い方をお願いしたい。将来的な推移、整備計画など見直しをもって作ってほしい。</p>
前川教育長	<p>篠山市は保護者の動態や社会の状況に、ついて行けていない。それは古市児童クラブ建設の時に感じた。人口動態は読み切れないものがある。私たちが求められるのは、計画の根拠である。施設を作る合意形成と計画を進める合意形成を教育委員会としてどう作るかである。今後、ソフト面での協力体制を伊丹市と取ろうと考えている。</p>
井上委員 芦田部長	<p>城北畑児童クラブでは、トイレは外を使うのか。 既存のトイレが外にある。濡れずにトイレに行ける状況にして使うようにする。</p>
前川教育長 齋藤所長	<p>報告12「平成29年度学校給食異物混入状況について」学校給食センター説明を求める。 《議案書に基づき説明》</p>
酒井委員 齋藤所長	<p>金たわしを使わなければならないのか。 釜や鉄製の物から油分や汚れを取ろうとすると、金たわしでないと落ちない。金たわしは、1ヶ月以内には交換するようにしている。今後も早期に点検し交換するようにしていきたい。</p>
酒井委員	<p>目視であたり点検の徹底をしたり、重大なことと捉えてマニュアルを作成してほしい。給食センターの信頼性が高まるために、新聞発表もしてほしい。</p>

前川教育長	重要な案件である。洗浄に対して必要な物か、他の物で対応できないか研究する。
芦田部長	金属たわしの混入は、他の給食センターでも問題になっている。未然に防げる対策を検討する。
前川教育長	報告13「平成30年度ふるさと一番会議資料（篠山の教育（概要版））について」教育総務課説明を求める。
小林課長	《議案書に基づき説明》
前川教育長	報告14「教育長報告」について報告する。 《議案書に基づき説明》
前川教育長	それでは、第1回定例教育委員会をこれで終了する。